

防災の多様性とは？

～ 逃げにくい人々～

災害はいつ起きるかわかりません。誰もが被災者になる可能性があります。
市民・支援者・当事者みんなで、お互いを知り、できることを考えてみませんか？



講師紹介

特定非営利活動法人
さぼーとセンターぴあ
代表理事

青田 由幸



2011年3月11日、青田さんは福島第一原発から25kmの南相馬市にある福祉施設「ぴーなっつ」にいました。原発事故の発生後も青田さんとその仲間が現地に残り、取り残された障害者・高齢者を支援し続けました。

災害では逃げたくても逃げられない人々がいる一方で、地域にも力になりたいと思いつつも、どのようにかかわれば良いか、わからない方もいます。

南相馬市での教訓をもとに、逃げにくい人々の状況を知り、地域全体でみんなで助けあい、支えあうための取組を色々な立場を超えて、みんなで、一緒に考えてみませんか。



開催日時

両日とも同じ内容になります。

11/15(金)中央北生涯学習プラザ 大ホール

11/16(土)ベイコム総合体育館 研修室

14時～16時30分 講演・交流検討会

16日は小・中学生作成の防災ポスター展示・表彰(13時30分から)あり

無料
手話通訳・
要約筆記あり

申込方法

- ◆ 右のQRコードを読み取り、入力フォームから
- ◆ またはFAXにて
 - ① 受講希望日
 - ② お名前(ふりがな)
 - ③ 連絡先(電話番号またはFAX)
 - ④ 所属団体(あれば)
 を記入して



FAX:06-6489-6952(重層的支援推進担当)まで

問い合わせ先

尼崎市 重層的支援推進担当課

電話 06-6489-6013 ファックス 06-6489-6952

(主催) NPO法人サニーサイド NPO法人月と風と 尼崎市 (協力)ミーツ・ザ・福祉実行委員会
(後援) 尼崎市社会福祉協議会 兵庫県弁護士会 尼崎市民生児童委員協議会連合会

※本事業は兵庫県のオーダーメイド型研修事業として事業支援を受けて事業を行っています。

11/15・16 阪神・淡路大震災30年事業 講演会参加申込書

FAX:06-6489-6952(尼崎市重層的支援推進担当課)まで

取得した個人情報は、当事業実施に係る目的以外には使用いたしません。

受講 希望日	ふりがな	連絡先 (電話、FAX)	(任意) 所属団体
	お名前		

主催団体のご紹介

この講演会は、阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えるにあたり、震災の経験と教訓を世代や地域を超えて、広く継承・共有していくとともに、災害への備えの大切さを伝え、みんなで考えることを目的に、障害がある人の支援に携わるNPO法人2団体と尼崎市が協力して実施しています。

NPO法人サニーサイド

NPO法人サニーサイドは、尼崎市で障害があるとされている人も、障害がないとされている人も、地域で共に生きていく為のコミュニティセンターとして1995年に設立しました。

誰もがその人らしさを大切にしたい暮らしを実現できるように・ヘルパー派遣・就労継続支援・グループホーム・インクルーシブ学童・シェアスペース事業を行っています。

NPO法人月と風と

しょうがいある人となない人のつながりづくりに主眼をおく。ヘルパー派遣業と並行して、銭湯やひとりのお風呂でしょうがいのある人とつながるプロジェクト「劇場型銭湯」、尼崎市委託のインクルージョンイベント「ミーツ・ザ・福祉」、コープこうべと協働でしょうがいのある人も働く寄付でつながる古着屋「チャリティショップふくる」などを展開中！

尼崎市

市では地域で助け合う共助による要支援者の避難支援のための取組を進めています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 要支援者ご自身の情報を避難支援関係者に提供することに同意していただいた方の名簿(避難行動要支援者名簿)の作成と、名簿の地域の支援者等への提供
- 要支援者お一人おひとりの状況に応じた個別避難計画の作成



(市ホームページ)